

ふれあいトムとも

だより

No2

「自分の地域に合った地区防災計画で、いざという時の安心・安全を」

〈住民自らが、地域の特性に応じて具体的に定める「地区防災計画」が創設〉

防災については、国や都道府県・市町村レベルでの防災計画を定め、活動を行ってきた。しかし、東日本大震災では、それらの災害対策がうまくかみあわず機能しきれない点が指摘されました。その教訓を踏まえ、平成25年の法改正で、地域コミュニティによる共助の観点で、自治体内の一定地区に住んでいる居住者等が自発的に定める「地区防災計画制度」が新設されました。この「地区防災計画」は、地区の特性に応じた項目を自由に計画に盛り込むことができることも、地域防災力を高めて、地域コミュニティを活性化することを目的としています。「災害時に、誰が、何を、どれだけ、どのようにするべきか」など、具体的に整理しながら、定めていくことが求められています。

〈被災時の状況を時間軸で想定する〉
トムハウスまちづくり部作成「被災時自助共助活動マニュアル」から〉

第4回ふれあいトムともでは、平成26年9月にトムハウス運営協議会まちづくり部が作成した「被災時自助共助活動マニュアルのための指針」を紹介し、それぞれの地域に引き寄せて考える時を持ちました。このマニュアルは、12月1日(平日)、午後3時という、寒い季節の日暮れ間近、家族が仕事・学校・買物等異なる場所にいる時間に、震度6強の地震が多摩市域を襲ったという想定で、震災発生直後から↓10分後↓1時間後↓半日後に、どのような状況下にあるかなど、時間を追ってシミュレーションしています。

〈各地域に引き寄せて、共に考える〉

その後、参加者がお住いになっている居住形態(マンション・戸建など)に分かれて、グループディスカッションを行いました。「万が一の時は避難所へ行けばよいと思っていたが、間違いだと気付いた」「どこにどのような人が住んでいるのか、地域として把握しきれない」「今回のマニュアルは大変有益だが、多くの住民に知ってもらえるための取組みをすすめていくことが大事」「まずは自助の取り組みを進めていくことが重要である」など、常に災害を想定した地域づくりが必要であるとの意見が出されました。

昨年も、大きな台風や大雨による土砂災害が続きました。災害時にどのように行動するのか、地域のコミュニティ単位で考えている必要が以前にもまして大きくなっています。ふれあいトムともでは、今後も地域で作成している防災マニュアルなどを紹介し、地域の防災についてともに考えていきたいと思っています。

地域の団体の活動紹介 ふれあい・いきいきサロン

「木曜サロン」

急激な高齢化に伴い、独り住まいや高齢者のみの世帯が増えるとともに、自宅に引きこもりがちという方も増加しています。地域の誰もが気軽に集える居場所として、「ふれあい・いきいきサロン」を立ち上げ、孤立を防ぐという取り組みが始められています。

落合3丁目の「木曜サロン」は、平成25年に立ち上げられ、毎週木曜日に集会所で、折り紙や麻雀を楽しまれています。今年夏には、民謡と三味線を楽しむ企画も行なわれ、三味線に合わせて歌を歌いました。参加者からは、「気軽に集まり、いろいろなおしゃべりをするのは楽しい!」「様々な折り紙を覚えられるし、孫にもほめられ自慢できて嬉しい」などの意見が寄せられています。代表の影山さんは「この団地にも独り暮らしの方が多くなり、誰もが集まれる場所を作りたいと始めた。少しでも和やかな時を、とお茶と持ち寄りのお菓子でおしゃべりしている。もっと多くの方に来ていただきたい」と話されています。



落合地域サロン



- ★三々五々の会 (落合3丁目)
- ★木曜サロン (落合3丁目)
- ★落合4-3園芸有志会 (落合4丁目)
- ★ぷろむな〜ど・サロン (落合5丁目)

鶴牧地域サロン



- ★ブリリアシニアの会 (鶴牧3丁目)
- ★グリーンメゾン鶴牧3環の会 (鶴牧3丁目)
- ★鶴三会 (鶴牧3丁目)
- ★鶴5東町会親睦会 (鶴牧5丁目)

皆で守り育てる芝生の校庭

～南鶴牧小学校～

東京都で最も広い 5000 m²の面積がある南鶴牧小学校の校庭は、きれいな緑の芝生で覆われています。水はけの悪さを改善しようと導入された広大な芝生は、「父母と教職員の会」や「おやじの会」を中心に、校庭利用団体のサッカークラブ、野球チーム、地域の方々などの「南鶴牧小グリーンネットワーク」により管理されています。子ども達も、芝刈機を押すなどの体験授業を通して、きれいな芝生が維持できるよう学んでいます。

9月27日、芝生化されてから毎年行われている「エコスポ祭り」が行なわれ、大勢の子ども達や地域の方が、きれいに整備されている芝生の上で、様々な催し物を楽しみました。

柔らかな芝生の上で、子どもたちは体いっぱい駆け回っています。



地域の身近な相談窓口 ～福祉なんでも相談～

福祉なんでも相談

日々の生活の中で困ったことなどや感じられていることなど、多摩センター地域包括支援センターと多摩市社協職員が相談をお受けしています。(協力: トムハウス運営協議会) お気軽にご相談下さい。

開催日時: 毎月第2火曜日
12:30~14:00
場所: トムハウス談話室
*無料

編集・発行: ふれあいトムとも世話人会

問合せ: 多摩市関戸4-72 ヴィータ・コミュニネ7階 多摩ボランティア・市民活動支援センター内
(社福)多摩市社会福祉協議会 地域福祉推進課 まちづくり推進係

TEL: 042-373-5616 担当: 松井・佐藤

